

国内クレジット認証委員会御中

審査結果概要書

平成 22 年 3 月 5 日

審査機関名 SGS ジャパン株式会社

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	重油焚ボイラの高効率ガス焚ボイラ転換による省エネルギー事業
排出削減事業者名	千曲厚生福祉事業協同組合
排出削減共同実施事業者名	環境経済株式会社
事業実施場所	千曲厚生福祉事業協同組合 デリクックちくま (長野県長野市篠ノ井森 428)
事業の概要	本事業は米飯給食、食材加工等の熱源になっている重油焚ボイラ設備を高効率ガス焚ボイラに更新し、エネルギー消費量およびCO2 排出量を削減するものである。
排出削減量の計画	2009 年度：160 tCO2/年 2010-2012 年度：275 tCO2/年 (事業実施期間合計 985tCO2)
国内クレジット 認証期間	開始日 2009 年 9 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラの更新

2. 審査結果

本事業は、排出削減事業の要件に適合している

3. 実施した審査手続の概要

審査手続により、以下の排出削減事業の認証の要件の妥当性を確認している。

要件	審査手続
日本国内で実施されること	<p>事業計画が日本国内で実施されていることを、事業サイトを訪問して確認した。</p> <p>排出削減事業実施場所： 千曲厚生福祉事業協同組合 デリクックちくま (長野県長野市篠ノ井森 428)</p>
追加性を有すること	<p>1) 本事業は、法的義務等の遵守のために計画されたものではなく、CO₂ 排出量の削減を目的として実施されたことを、関係者への質問等により確認した。</p> <p>2) 排出削減事業を実施せず、設備更新を行わない場合、既存設備を継続して利用できることを、法定検査記録及びメンテナンス履歴の確認、現地において事業者への質問等により確認した。</p> <p>3) 排出削減事業の投資回収年数は 4.9 年である。投資回収年数計算の根拠データについて、事業者及び関係者への質問及び検算、関連証憑との突合により適切性を確認している。</p> <p>4) 事業者においては、更新前設備の CO₂ 排出量が多く、環境配慮意識から CO₂ 排出を減らしたいと考えていた。国内クレジット制度の活用により、CSR 活動・環境への取り組みに対するアピール効果が期待できることが事業実施の一因となっている。</p>
自主行動計画に参加していない者により行われること	<p>排出削減事業者への質問、関係者への質問等により、自主行動計画に参加していない事業者であることを確認している。</p>
排出削減方法論に基づいて実施されること	<p>1) 本排出削減事業は、承認済排出削減方法論 001 に基づき排出削減量を計算しており、また、方法論の適用条件を満たしていることを確認している。</p> <p>適用条件 1: 既存ボイラ並びに新設ボイラの機器仕様書(カタログ)を参照し、高効率のボイラ設備に更新されたことを確認している。</p>

	<p>適用条件 2: 既存ボイラの過去の運転・メンテナンス状況を確認し、更新を行わなくても既存設備のまま継続的に使用できることを確認している。特に法定耐用年数の 2 倍を超過したボイラについては、法定検査及び日常点検の記録、運転状態、修理履歴等を確認する事により、問題がないことを確認している。</p> <p>適用条件 3: 事業実施前及び実施後のボイラ蒸気が、継続的に自家消費されている状況であること、今後も継続することを、現地視察及びヒアリングによって確認している。</p> <p>2) その他、バウンダリの設定、ベースラインの設定、リーケージの特定、排出削減量、モニタリング方法が適切であることについて、それぞれ質問と関連証憑により確認している。</p>
--	--

上記の詳細については、別紙「排出削減事業の要件についての確認事項一覧」を参照すること。

4. 特記事項

投資回収年数については、補助金を除いた純投資額をもとに算出している。

以上